

おすくはしきりて

同年令の支違から

ユルハツク に入つた手紙が来た

手紙の格りけ

もうおめだ 何と言つても ためだ

と大さな字でかかれていた

急激な自分の変化 にかいて思わぬ

竹ひの かわるもの

私に見つめろ そろそろ ことには

笑は手と流す時 川も水道の出口を

すくく 水を去してゆく

当然に 流し下ろす とき

とさううと 水逆水とすう

ふんふん 川そいで ときうと

くわても 氷が出ている

その時 不測の方をさあす

出っけに水 とすう

ニミツ

不測の方を出すうに してり

水の方をさあす

こんなことがわかうふの  
胸がどっしりとした

その道へ入ってしまつたのか

なしてやりかたをわかんない

しばらくはひとりでいた

もうどめだと云つた心境

わかるとあかしのふし私を存するに

やつと気をとりのあつて全平にわかる

ボクへの道は遠い方かいい

甲子とと ~~地盤~~ 土をとりける

一 証 重 一

行動してゆく

2024  
9/14